

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名

ITEA 卵白アルブミン (OVA) ELISA キット (抗体固相化済)
ITEA スギ花粉アレルゲン (Cry j 1) ELISA キット (抗体固相化済)
ITEA ダニアレルゲン (Der f 1) ELISA キット (抗体固相化済)
ITEA ダニアレルゲン (Der p 1) ELISA キット (抗体固相化済)
ITEA ダニアレルゲン (Der f 1) 高感度 ELISA キット (抗体固相化済)
ITEA ダニアレルゲン (Der f 2) ELISA キット (抗体固相化済)

C. 酵素標識抗体

製品コード

10203、10204、10205、10206、10207、10208

会社情報

会社名

ITEA 株式会社 東京環境アレルギー研究所

担当部署

品質管理部

住所

〒113-0001 東京都文京区白山 1-33-18 白山 NT ビル

電話番号

03-3526-2031

Fax 番号

03-3526-2032

電子メールアドレス

reag-info@itea.jp

緊急連絡電話番号

03-3526-2031

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

研究用試薬

使用上の制限

推奨用途以外への使用は禁止する。

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

分類できない

環境に対する有害性

分類できない

GHS ラベル要素

絵表示

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

該当しない

注意書き

該当しない

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要
情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示整理番号	濃度または濃度範囲 (wt%)
HRP-Protector™ (成分非公開*1)	-	-	≥ 99.90
酵素標識抗体 (*2)	-	-	≤ 0.10
アミン反応性形態西洋ワサビペルオキシダーゼ	-	-	
2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパンジオール (Tris)	77-86-1	2-318	
塩化水素	7647-01-0	1-215	
精製水	7732-18-5	-	
グリセロール	56-81-5	2-242	

*1 以下に該当する物質は含まれていない。

- ・消防法：危険物
- ・毒物及び劇物取締法：毒物、劇物
- ・労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物、名称等を表示すべき危険物及び有害物
- ・化学物質排出把握管理促進法

*2 #10203：抗 OVA 抗体 (CAS 番号：-、官報公示整理番号：-)

#10204：抗 Cry j 1 抗体 (CAS 番号：-、官報公示整理番号：-)

#10205、#10207：抗 Der f 1 抗体 (CAS 番号：-、官報公示整理番号：-)

#10206：抗 Der p 1 抗体 (CAS 番号：-、官報公示整理番号：-)

#10208：抗 Der f 2 抗体 (CAS 番号：-、官報公示整理番号：-)

特記事項

塩化水素は、濃度が 10%以下であるため劇物には該当しない。
グリセロールは、濃度が 90%未満であるため危険物には該当しない。

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	大量の水で洗うこと。異常が生じた場合には、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状または遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

消火剤の制限なし。

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響を与える可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと（項目7、10参照）。液体吸収剤で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱注意事項

接触回避

衛生対策

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

直射日光、高温多湿を避ける。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策	2～8℃を維持できるバイオメディカルクーラーで保管する。
混触禁止物質	情報なし
保管条件	直射日光を避け、2～8℃で保管する。
容器包装材料	ガラス、高密度ポリエチレン

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

管理濃度	設定なし
許容濃度	塩化水素 [日本産衛学会] 2 ppm (3.0 mg/m ³) (最大値) [ACGIH] STEL 2 ppm (最大値)

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて保護マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	無色液体
臭い	情報なし
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	情報なし
溶解度	水に溶解する。
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光、高温多湿
混触危険物質	情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

11 有害性情報

製品の有害性情報

情報なし

成分の有害性情報

経口毒性	Tris	ラット LD50 5900 mg/kg
	塩化水素	ラット LD50 238 - 277 mg/kg
経皮毒性	Tris	情報なし
	塩化水素	ウサギ LD50 >5010 mg/kg
吸入毒性	Tris	情報なし
	塩化水素	ラット LC50 0.42 mg/L/4H (エアゾール)
発がん性	Tris	情報なし
	塩化水素	IARC-Gr.3; ヒトに対する発がん性について分類できない ACGIH-A4; 人に対する発がん性物質としては分類されない

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

成分の環境影響情報

生態毒性	塩化水素	甲殻類 (オオミジンコ) EC50/48H 0.492 mg/L
------	------	----------------------------------

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した上、リサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (ADR/RID の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名	該当しない

国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海上輸送（IMOの規定に従う）	
国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
IBC コード	該当しない
航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）	
国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

消防法	グリセロール 第4類：引火性液体、第三石油類、危険等級 III、水溶性液体 上記は 90%以上に適用のため非該当
海洋汚染防止法	グリセロール 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	グリセロール 輸出貿易管理令別表第1の16の項

16 その他の情報

参考文献

ITEA 株式会社 東京環境アレルギー研究所保有資料
 NITE GHS 分類結果一覧（2018）

日本産業衛生学会（2017）許容濃度等の勧告
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2018) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等があった場合には適宜改訂を行います。また、注意事項等は通常の見扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

作成日 2024年4月19日

ver2024_1.0